

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 103

正木美術館
忠岡町

山水画を中心に東洋の
古美術品を収蔵・展示

「日本で一番小さな町」の
美術館

大阪府の西南部にある忠岡町は、大阪湾に面する平野部に位置し、面積は4・03㎢と、全国町村の中で一番小さな自治体です。

その町に、公益財団法人「正木美術館」があります。1968年に忠岡の素封家である正木孝之氏が、長年にわたり収集した美術品と土地・建物を寄附し、設立しました。

現在、収蔵品は国宝3件、重要文化財13件を含む約1300点を数えます。また、展示館の隣には住居でもあり茶道の実践の場もあった茶室付の正木記念邸（登録有形文化財）があります。趣のある庭園や玄関に、懐かしさを感じました。



創設者の正木孝之氏



正木記念邸 邸内には3畳台目と6畳の茶室が設けられています

文化や歴史の継承が
穏やかな世界を作る力に

今日、政治や経済のグローバル化とともに競争や争いも激化し、社会全体が不安定になっています。かつて孝之は「文化の灯 世界を包め赫々（光り輝くという意味）」と呼びかけています。この言葉から、文化や歴史を大切に受け継ぐことが、心を育て、穏やかな世界を作る原動力になるのではないのでしょうか。

春季展「山水に遊ぶ」は7月3日まで
南海本線「忠岡駅」より徒歩15分
TEL：0725-21-6000
http://masaki-art-museum.jp/

いそびなすふがえいが



「わが青春つきるとも」 ——伊藤千代子の生涯——

暗黒の時代に 平和と男女平等に生きた女性

戦前の天皇制と軍国主義という暗黒の時代に、侵略戦争に反対し主権在民、ジェンダー平等の社会をめざす活動に青春をささげた女性がいきました。伊藤千代子です。その清らかなわが24歳という生涯を描いた映画が完成しました。

伊藤千代子は昭和初期、アララギ派歌人の土屋文明の薫陶を受けた諏訪高女に学び、東京女子大学では社会科学研究会に入って活動しました。「朝から晩まで働いても、満足にご飯が食べられない貧しい人たちが、一方では贅沢をしている人たち…。この不公平な社会をなんとかよい社会にしたい…」。

諏訪の紡績工場のストライキ支援で女工と腕を組み「赤旗の歌」を歌う場面に胸が熱くなります。

明治・大正末期から昭和初期の激動の時代。天皇の絶対的専制政治のもと、国民は貧困と無権利状態におかれ

ていました。伊藤千代子はそんな時代に生き、たたかいました。1928年3月15日の国家権力による弾圧で投獄されても屈せずたたかいぬきました。が、精神を病んで肺炎になり24歳で生涯を閉じました。特高警察の弾圧、病の苦しみ、夫の変節に耐えながら、たたかいの炎を燃やし続けた生涯でした。そんな伊藤千代子を、師の土屋文明は「こころざしつたふれし少女（おとめ）よ 新しき光の中におきておもはむ」と詠みました。

監督は桂壮三郎、主演は新人の井上百合子ほか窪塚俊介、金田明夫、石丸謙二郎、竹下景子らが出演。上映時間は125分。

※大阪市内では5月21日にドーンセンタ1、6月3日にグリーン会館で上映会が開催されるほか、府内でも順次自主上映会が予定されています。

Culture Navi かるチャナビ

作りませんか



春野菜の煮物

岸和田市職労 給食部会

協力：現業評議会・給食部会



材料（4人分）

■鶏もも肉32g、人参20g、たけのこ水煮28g、丸天60g、長いも80g、ふき（葉なし）28g、削りぶし6g、水120g、調味料（さとう6g、みりん10g、薄口しょうゆ12g、濃口しょうゆ4g）

作り方

- ①鶏肉は細かめに、人参は0.5センチのいちょう切りにする。
- ②たけのこ水煮は乱切りに、長いもは2センチのいちょう切りにして水につけておく。
- ③フキは筋を取って2センチの長さに切る。
- ④削りぶしでだしをとる。
- ⑤だし汁に材料を加えて数分煮る。
- ⑥調味料を加えてさらに煮込む。

心に響く このひとこと

水はいきなり
煮え湯にはならない
火を消し止めるなら今だ

村山 由佳
（作家 1964年～）

日本国憲法施行から75年。一度も戦争で人の命を奪うことはありませんでした。他国と共同して戦争することを可能にする「安保法制」の提案に、多くの国民が国会前を埋め尽くし反対しましたが与党は強行。その後就任した菅首相（当時）は6人の研究者の学術会議会員任命を拒否しました。「今これを許してしまったなら、いつかこの先で自分の自由も奪われる。」水はいきなり煮え湯にはならない。火を消し止めるなら今だ」と訴えたのが直木賞作家の村山さん。今度は、緊急事態を口実にした「憲法改正」です。許してはなりません。

今月の 記念日

5月20日
ローマ字の日

1955年に財団法人「日本のローマ字社」が制定しました。日本式ローマ字つづりの発案者で、ローマ字国字論を展開した地球物理学者・田中館愛橘（たなかだて あいきつ、1856～1952年）の命日にちなんで。また、社団法人「日本のローマ字社」が1922年のこの日に創設されたことを記念したものとのことです。単に「ローマ字」という場合、本来はラテン文字（ラテンアルファベット）のことを指します。「ローマ」とは、古代ローマ帝国において用いられていた文字であることに由来しています。現在の日本では、日本語をラテン文字で表記する方法、またはラテン文字で表記された日本語（ローマ字つづりの日本語）のことを指すのが一般的です。